

授業科目 基礎看護技術演習 II

【担当教員名】 佐藤 信枝	対象学年	2	対象学科	看護	
	開講時期	前期	必修選択	必修	
	単位数	1	時間数	30	
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 人々の健康を促進するために必要な看護実践の基礎となる知識・技術・態度を習得する。 基礎看護技術演習2では、診療に関わる看護者の役割を理解し、基本となる技術を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者が安全・安楽に検査・治療が受けられる環境と看護者の役割について理解できる。 2. 感染防止の基礎知識・標準予防策について理解できる。 3. 滅菌物の基本的な取り扱い方法を習得できる。 4. 呼吸・循環を整える技術を提供する根拠について説明できる。 5. 吸入、口腔・鼻腔内吸引に必要な技術を習得できる。 6. 薬物療法に関する基礎知識・輸血管理の方法について説明できる。 7. 筋肉内注射に必要な看護技術を習得できる。 8. 点滴静脈内注射に必要な技術を習得できる。 9. 採血に必要な技術を習得できる。 10. 一時的導尿に必要な看護技術を習得できる。 					
回数	授業計画・学習の主題		SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	科目ガイダンス、診察・検査に伴う看護技術		1	講義	
2	感染防止の看護技術		1.2	講義	
3	滅菌物を取り扱う看護技術		2.3	演習	
4	呼吸を整える看護技術		1-4	講義	
5-6	吸入、口腔・鼻腔内吸引の看護技術		1-5	演習	
7-8	与薬に関する看護技術・輸液管理方法		1.4-6	講義	
9-10	筋肉内注射の看護技術		1-3.6.7	演習	
11	点滴静脈内注射の看護技術		1-3.6.8	演習	
12-13	採血の看護技術		1-3.9	演習	
14-15	一時的導尿の看護技術		1-3.10	演習	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		系統看護学講座専門分野 I 基礎看護学 [3] 基礎看護技術 II	藤崎郁編集	医学書院	2011・3,050円
参考書		基礎看護技術 I 第7版	阿曾洋子	医学書院	2011・5,040円
		実践へのフィードバックで活かす ケア技術のエビデンス	深井喜代子監修	へるす出版	2006・4,200円+税
		基礎看護技術	坂本すが監修	南江堂	2011・4,200円+税
その他の資料		配布資料			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席状況：10%		・演習への参加は必須であり、積極的に取り組むこと。			
演習内容に基づいた課題：30%		・演習を円滑に実施するには、事前学習とその振り返りが必要である。			
期末試験：60%					